

令和8年度 総合的な学習の時間全体計画 江戸川区立大杉小学校

校長名 藤田 暁美

名称: 総合的な学習の時間

学校の教育目標	すすんでとりくむ子 おもいやりのある子 けんこうな子
----------------	----------------------------------

国が示す総合的な学習の時間の目標	
<p>探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。</p>	

学校の総合的な学習の時間の目標	
<p>1 人との関わり、ものや自然との関わりを大切にし、進んで課題を見付け、問題を解決する力を育てる。</p> <p>2 自ら課題を見付け、問題を解決するための活動を通して、学ぶ態度や考える態度を育てる。</p> <p>3 協同的な問題解決のための活動を通して、自分や他者のよさに気づき、自己の生き方を考える機会と成す。</p>	

育てようとする資質や能力及び態度	
知識及び技能	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> ●体験的な活動を通して、課題を見付け、解決する方法を自ら考えることができる。 ●個人やグループの発想を生かし、調べ方やまとめ方を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●経験から学んだことを整理し、課題を明確にして解決の見通しをもつことができる。 ●課題を様々な視点から見つめ、多面的に考えることができる。
思考力、判断力、表現力等	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> ●自ら課題を見付け、解決に向けて行動することができる。 ●学習の成果を分かりやすく表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●課題を様々な視点から見つめ、多面的に考えることができる。 ●学習の成果を分かりやすく表現することができる。
学びに向かう力、人間性等	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> ●自ら情報を収集しようとしている。 ●情報モラルを守り、大切にしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●必要な情報を取捨選択しながら取材しようとしている。 ●情報モラルを守り、大切にしようとしている。

内容	学習対象	学習事項
第3学年	・国際理解 〈世界の国調べ〉	<ul style="list-style-type: none"> ・世界には様々な国があることを知る ・グループで国の国旗や食文化、特色を調べる ・調べた情報を整理してまとめ、発表する
第4学年	・障害理解教育 〈白杖・ガイドヘルプ体験〉	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な障害の種類や程度 ・白杖体験、ガイドヘルプ体験 ・自分にできること、暮らしやすい社会について
第5学年	・身近な自然環境 〈大杉米作り〉	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然の存在とそのよさ ・米作りの方法を調べ、体験する ・身近な環境と自分たちの便利な生活との関わり
第6学年	・自己の生き方と人との関わり 〈全員プラスバンド〉	<ul style="list-style-type: none"> ・上達のための練習方法を考え、活動する ・文化や伝統を守り、受け継ごうとする活動 ・地域の祭りに参加し、郷土愛を深める

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
<ul style="list-style-type: none"> ●3年生は、世界の国についての情報を集め、整理してまとめて発表する。 ●4年生は、様々な障害について理解し、体験したことや学んだことをまとめ、発表する。 ●5年生は、収穫祭に向けた米作りを通して、一粒の大切さと協力する尊さを学び、発表する。 ●6年生は、目標達成に向けて互いが協力し、一人一人が主体的に取り組む活動とその発表をする。 <p>(全員プラスバンドの活動を通して、一人一人の役割の重要性と責任、心を合わせることの大切さを学ぶ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●体験活動の精選と支援 ●グループによる学習の指導 ●人と関わるための基本的態度の指導 ●一人一人の自覚を促すため、カードやワークシートなどにまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者ボランティアの活用 ●地域ボランティアの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の活動日記 ●活動時の様子や活動の振り返りの様子、発言の分析 ●まとめた資料や自己の考えの変容や成長を記述した成果物の分析 ●発表会等を通しての一人一人の達成度や達成感とその振り返りを通じた分析